

2014

ワーキング
パーソン
調査

ワーキングパーソン調査2014 目次

調査概要	6	7. 年収調整の有無	95
Part I プロフィール	7	8. 異動	96
1. 個人属性	8	1) 定期的な人事異動の有無	96
1) 性別	8	2) 定期的な人事異動の期間	97
2) 年齢	9	3) これまでの異動回数	98
3) 配偶者の有無	10	4) 課長になるまでの異動回数	99
4) 初婚年齢	11	5) 課長から部長になるまでの異動回数	100
2. 年収	12	6) 異動はキャリア形成にプラスに作用したか	101
1) 昨年の年収-回答者本人-	12	7) 異動によって得られたもの	102
2) 昨年の年収-回答者の配偶者-	14	9. 昇進	103
3. 家族構成	16	1) 課長に昇進するまでの年数	103
1) 子どもの有無	16	2) 部長に昇進するまでの年数	104
2) 子どもの人数	17	10. 成長実感と現在の仕事・職場との適合性	105
3) 長子年齢	18	1) 成長実感	105
4) 同居者	20	2) 現在の仕事・職場との適合性	106
4. 学歴	22	11. ワーキングマザーの働き方の変化	113
1) 最終学歴	22	Part III 初職の就業実態	121
2) 卒業した高等学校の種類	23	1. 在学中から就職するまで	122
3) 大学への入学方法	24	1) 社会人になる前に卒業した学校	122
4) 大学・大学院卒者の卒業学部系統(研究科)	25	2) 在学中に卒業後の最初の仕事は決まっていたか	123
5) 中退経験	26	2. 初職の就業状況	124
6) 中退した教育機関	27	1) 初職の就業形態	124
7) 両親の最終学歴	28	2) 初職の勤務先業種(大分類)	125
Part II 現在の就業実態	31	3) 初職の勤務先従業員規模	127
1. 現在の就業形態	32	4) 初職の就業職種(大分類)	129
2. 勤務先の属性	33	5) 退職理由(複数回答)	131
1) 現在の勤務先業種(大分類)	33	6) 最も重要な退職理由(単一回答)	133
2) 現在の勤務先従業員規模	35	Part IV 転職行動実態	135
3. 就業の状況	37	1. 転職経験	136
1) 現在の就業職種(大分類)	37	1) 退職経験の有無	136
2) 現在の職種の経験年数	39	2) 退職経験者の退職回数	137
3) 現在の役職	41	3) 転職時期	138
4) 1週間の労働日数	42	2. 転職時の状況	139
5) 現在の週労働時間	43	1) 退職理由(複数回答)	139
6) 残業手当の支給制度	45	2) 最も重要な退職理由(単一回答)	141
7) サービス残業の有無	46	3) 現在の会社(仕事)への入職経路	143
8) 働きかたの密度	47	4) 転職活動社数	145
4. 入社時の状況	48	① 転職先として検討した会社の数	145
1) 入社時年齢	48	② 応募した会社の数	146
2) 現在の勤務先の勤続年数	50	③ 面接や試験など選考をうけた会社の数	147
5. キャリアステージ	52	④ 内定をもらった会社の数	148
1) 専門領域の有無	52	5) 退職と転職先決定の順序	150
2) 専門領域と現在の仕事の合致	53	6) 転職満足度	151
3) 現在の仕事(分野)の経験年数	54	3. 転職前後の状況と変化	152
4) 仕事の段階	56	1) 勤務先業種	152
5) 仕事の段階の上昇による会社からの評価の変化	57	① 転職前業種(大分類)	152
6. 仕事内容や職場の状況	58	② 業種間移動(大分類間)パターン	154
1) 仕事や職場の特徴	58	③ 業種間移動(製造・非製造2分類間)パターン	155
2) 直属の上司による仕事の指示の仕方	67	2) 勤務先規模	156
3) 所属部署の実態	82	① 転職前勤務先の従業員規模	156
4) 部下の人数	87	② 規模間移動(中分類間)パターン	157
5) 職務の大きさレベル	90	3) 労働時間	158
6) 職務の遂行レベル	91	① 転職前の1週間労働日数	158
7) 職務における人間関係のレベル	92	② 転職前の週労働時間	159
8) 職務で関わる人たちとの信頼関係レベル	93		
9) 勤務制度	94		

4) 就業職種	161	Part IX マネジャー追跡調査	251
① 転職前職種(大分類)	161	1. 個人属性	252
② 転職直後職種(大分類)	163	1) 性別	252
③ 職種間移動(中分類)／職種移動パターン	165	2) 年齢	253
5) 転職前勤務先の就業形態	166	3) MBA取得有無	254
6) 転職前勤務先の役職	167	4) 子どもの頃の経済的な暮らし向き	255
7) 年収	168	5) 成果給の割合	256
① 転職前年収	168	2. 勤務先属性	257
② 転職後1年目年収	170	1) 設立形態	257
③ 年収の増減状況(転職前と転職後1年目比較)	172	2) 年間売上高	258
④ 年収の増減状況(転職前と転職後2年目比較)	174	3) 幹部候補生早期選抜ルートの有無	259
⑤ 転職時の希望年収	176	3. 部署・部下の実態	260
8) 転職前勤務先の仕事や職場の特徴	178	1) 所属している部署の従業員数	260
9) 転職前の仕事・職場との適合性	187	2) 管理している部署の実態	261
		3) 部下の1週間の労働日数	264
		4) 部下の週労働時間	265
		5) 部下の年間離職率	266
		6) 人事考課	267
		7) 部下の時間外労働の管理が 人事考課項目に組み込まれているか	274
Part V これからの働き方	195	4. マネジャーの仕事の実態	275
1. 転職意識	196	1) 仕事の割合	275
1) 転職意向	196	2) 理想の仕事の割合	281
2) 転職阻害要因(複数回答)	197	3) 業績を上げるためにとっている行動	287
3) 最もネックとなる転職阻害要因(単一回答)	198	4) 部下に対する仕事の指示の仕方	293
4) 転職・独立希望	199	5. これまでの経験	301
2. 勤務制度の希望	202	1) 現在の会社で経験した職能分野(複数回答)	301
		2) 現在の会社で最も長く経験した 職能分野(単一回答)	302
		3) 現在の会社以外で経験した職能分野(複数回答)	303
		4) 現在の会社以外で最も長く経験した 職能分野(単一回答)	304
		5) 現在のポジション(役職)を得るための役立ち度	305
		6. 就業意識	310
		1) 働き方や仕事に対する価値観	310
		2) 望ましいと思う働き方	314
Part VI 定年関連	205	Part X 特別集計	317
1. 定年までの就業意識	206	1. 年齢別の保有能力	318
1) 生活のために働かざるを得ないと思う年齢	206	2. 職種・業種間移動	319
2) 現在の勤務先での就業継続意向	207	3. 企業規模別の定期的な人事異動の有無	320
3) 定年前に辞める理由	208	4. 上司の仕事の指示の仕方が 部下や部署に与える影響	321
4) 定年前に転職する理由	209		
2. 定年経験	210	付録 調査画面見本・単純集計値一覧	323
1) 定年経験の有無	210	調査画面見本	324
2) 定年時年齢	211	単純集計値一覧	383
3) 定年後の状況	212		
4) 定年後の状況は想定通りだったか	213		
5) 定年前の職務経験を活かせる仕事か	214		
6) 定年前にしたこと	215		
Part VII 就業意識	217		
1. 望ましいと思う働き方	218		
Part VIII 能力と学習行動	225		
1. 能力に対する自己評価	226		
1) 持っている能力	226		
① 対人基礎力	226		
② 対自己基礎力	228		
③ 対課題基礎力	230		
④ 処理力	232		
⑤ 思考力	234		
⑥ 専門力	236		
2) 中学3年時の学業成績	239		
3) 高等学校時代の経験	240		
2. 学習行動	247		
1) 勤務時間外の学習活動	247		
2) 学習活動に費やしている時間	248		

調査票Qナンバー順目次

設問番号	基本属性別・学歴別	データ掲載ページ	設問番号	基本属性別・学歴別	データ掲載ページ
Q1	現在の就業形態	32	Q33	年収の増減状況 (転職前と転職後2年目比較)	174
Q2	入社時年齢	48	Q33	転職時の希望年収	176
Q2	現在の勤務先の勤続年数	50	Q34	転職前勤務先の仕事や職場の特徴	178
Q2	転職時期	138	Q35	転職前の仕事・職場との適合性	187
Q3	現在の勤務先業種(大分類)	33	SQ36-1	社会人になる前に卒業した学校	122
Q4	現在の勤務先従業員規模	35	Q37	初職の就業形態	124
Q6	1週間の労働日数	42	Q38	在学中に卒業後の最初の仕事は 決まっていたか	123
Q6	現在の週労働時間	43	Q40	初職の就業状況 退職理由(複数回答)	131
Q7	残業手当の支給制度	45	Q40	初職の就業状況 最も重要な退職理由(単一回答)	133
SQ7	サービス残業の有無	46	Q41	初職の勤務先業種(大分類)	125
Q8	働きかたの密度	47	Q42	初職の勤務先従業員規模	127
Q9A	現在の就業職種(大分類)	37	Q43	初職の就業職種(大分類)	129
Q9B	現在の職種の経験年数	39	Q44	現在の役職	41
Q10	直属の上司による仕事の指示の仕方	67	Q45	定期的な人事異動の有無	96
Q11	所属部署の実態	82	Q45	定期的な人事異動の期間	97
Q12	専門領域の有無	52	Q46	これまでの異動回数	98
SQ12	専門領域と現在の仕事の合致	53	SQ46-1	課長になるまでの異動回数	99
Q13	仕事や職場の特徴	58	SQ46-2	課長から部長になるまでの異動回数	100
Q14	成長実感	105	Q47	異動はキャリア形成にプラスに作用したか	101
Q15	仕事の段階	56	SQ47	異動によって得られたもの	102
SQ15	仕事の段階の上昇による 会社からの評価の変化	57	Q48	課長に昇進するまでの年数	103
Q16	現在の仕事(分野)の経験年数	54	Q49	部長に昇進するまでの年数	104
Q17	職務の大きさレベル	90	Q50	部下の人数	87
SQ17-1	職務の遂行レベル	91	Q51	転職意向	196
SQ17-2	職務における人間関係のレベル	92	Q52	転職阻害要因(複数回答)	197
SQ17-3	職務で関わる人たちとの信頼関係レベル	93	Q52	最もネックとなる転職阻害要因(単一回答)	198
Q18	退職経験の有無	136	Q53	転職・独立希望	199
Q19	退職経験者の退職回数	137	Q54	勤務制度	94
Q20	転職満足度	151	SQ54	勤務制度の希望	202
Q21	退職理由(複数回答)	139	Q55	生活のために働かざるを得ないと思う年齢	206
Q21	最も重要な退職理由(単一回答)	141	Q56	現在の勤務先での就業継続意向	207
Q22	現在の会社(仕事)への入職経路	143	SQ56-1	定年前に辞める理由	208
Q23	退職と転職先決定の順序	150	SQ56-2	定年前に転職する理由	209
Q24	転職活動社数	145	Q57	定年経験の有無	210
Q26	転職前業種(大分類)	152	SQ57-1	定年時年齢	211
Q26	業種間移動(大分類間)パターン	154	SQ57-2	定年後の状況	212
Q26	業種間移動(製造・非製造2分類間)パターン	155	SQ57-3	定年後の状況は想定通りだったか	213
Q27	転職前勤務先の従業員規模	156	SQ57-4	定年前の職務経験を活かせる仕事か	214
Q27	規模間移動(中分類間)パターン	157	Q58	定年前にしたこと	215
Q29	転職前の1週間労働日数	158	Q59	対人基礎力(持っている能力)	226
Q29	転職前の週労働時間	159	Q59	對自己基礎力(持っている能力)	228
Q30A	転職前職種(大分類)	161	Q59	対課題基礎力(持っている能力)	230
Q30A	職種間移動(中分類)／職種移動パターン	165	Q59	処理力(持っている能力)	232
Q30B	転職直後職種(大分類)	163	Q59	思考力(持っている能力)	234
Q30B	職種間移動(中分類)／職種移動パターン	165	Q59	専門力(持っている能力)	236
Q31	転職前勤務先の就業形態	166	Q60	勤務時間外の学習活動	247
Q32	転職前勤務先の役職	167	SQ60	学習活動に費やしている時間	248
Q33	転職前年収	168	Q61	望ましいと思う働き方	218
Q33	転職後1年目年収	170	Q62	現在の仕事・職場との適合性	106
Q33	年収の増減状況 (転職前と転職後1年目比較)	172			

設問番号	基本属性別・学歴別	データ掲載ページ	設問番号	特別集計	データ掲載ページ
F1	性別	8	Q10	上司の仕事の指示の仕方が 部下や部署に与える影響	321
F2	年齢	9	Q11	上司の仕事の指示の仕方が 部下や部署に与える影響	321
F5	配偶者の有無	10	Q14	上司の仕事の指示の仕方が 部下や部署に与える影響	321
SF5-1	初婚年齢	11	Q26	職種・業種間移動	319
F6	昨年の年収-回答者本人-	12	Q30	職種・業種間移動	319
SF6-1	昨年の年収-回答者の配偶者-	14	Q45	企業規模別の定期的な人事異動の有無	320
F7	年収調整の有無	95	Q51	上司の仕事の指示の仕方が 部下や部署に与える影響	321
F8	子どもの有無	16	Q59	年齢別の保有能力	318
SF8-1	子どもの人数	17			
SF8-2	長子年齢	18			
SF8-3	ワーキングマザーの働き方の変化	113			
F9	同居者	20			
F10	最終学歴	22			
SF10-1	大学・大学院卒者の卒業学部系統(研究科)	25			
SF10-2	大学への入学方法	24			
F11	中退経験	26			
SF11	中退した教育機関	27			
F12	卒業した高等学校の種類	23			
F13	高等学校時代の経験	240			
F14	中学3年時の学業成績	239			
F15	両親の最終学歴	28			

設問番号	マネジャー追跡調査	データ掲載ページ
F1	性別	252
F2	年齢	253
Q1	設立形態	257
Q2	年間売上高	258
Q3	所属している部署の従業員数	260
Q4	仕事の割合	275
SQ4	理想の仕事の割合	281
Q5	業績を上げるためにとっている行動	287
Q6	部下に対する仕事の指示の仕方	293
Q7	人事考課	267
SQ7	部下の時間外労働の管理が 人事考課項目に組み込まれているか	274
Q8	幹部候補生早期選抜ルートの有無	259
Q11	現在のポジション(役職)を得るための役立ち度	305
Q12	経験した職能分野	301
Q13	働き方や仕事に対する価値観	310
Q14	望ましいと思う働き方	314
Q15	管理している部署の実態	261
Q16	部下の1週間の労働日数	264
Q16	部下の週労働時間	265
Q17	部下の年間離職率	266
Q20	MBA取得有無	254
Q21	子どもの頃の経済的な暮らし向き	255
Q22	成果給の割合	256

調査概要

■目的

首都圏で働く人々の就業に関する実態と意識を明らかにする。

■調査対象母集団

首都圏50km(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)で、正規社員・正規職員、契約社員・嘱託、派遣、パート・アルバイト、業務委託として2014年8月最終週に1日でも就業している

18～69歳の男女。(学生除く)

(今回より60～69歳を調査対象に追加。そのため本報告書では60代を除く調査結果も掲載している)

■サンプル数

9857名(男性:5600名、女性:4257名)

(06年集計よりウエートバックによる集計は行っていない)

■サンプリング

社員グループとパート・アルバイトグループに分け、性別・年齢5歳階級別・エリア別に割り付けを行った。

社員グループは、「正規社員・正規職員」

パート・アルバイトグループは、「契約社員・嘱託」「人材派遣企業の派遣社員」「パート」「アルバイト」

「業務委託・フリーランス」

■調査期間

2014年9月4日～9月11日

■調査方法

インターネットモニター調査

<マネジャーへの追跡調査>

ワーキングパーソン調査回答者のうち、役職についている人へ、以下の概要で追跡調査を行った。

■サンプル数

1583名(男性:1409名、女性:174名)

■サンプリング

ワーキングパーソン調査において、現在「部長クラスの管理職」「部長クラスと同待遇の専門職」「課長クラスの管理職」「課長クラスと同待遇の専門職」と回答した人全員へ調査を依頼。

また、「係長・主任クラスの管理職」「係長・主任クラスと同待遇の専門職」と回答した人の中から、ランダムに対象者を抽出し、約500名の回答を得られるように調査を依頼。

■調査期間

2014年9月24日～9月29日

■調査方法

インターネットモニター調査